

法然上人のお歌

ちとせふる

小松のもとを すみかにて

無量寿仏の 迎えをぞまつ



長い月日を経た立派な老松のある、小松殿を住房として、無量寿仏（阿弥陀仏）のお迎えを待っていることよ。

【解説】

この歌は、法然上人が晩年を過ごされた「小松殿」という場所で詠まれたものです。上人は、そこにある松の老木を見て、いずれ枯れてしまうことに儚さを覚えられたのでしょうか？そのような松とは、対照的な、永遠に変わることのない極楽浄土へ、いつか必ず阿弥陀仏がお導きくださるという思いを深められ、この時の心情を込められました。阿弥陀仏に全てをおまかせして生き抜かれた、法然上人のお心がうかがえるお歌です。



令和4年10月12日（水）
3年ぶりに佐賀教区檀信徒大会が唐津市相知町で開催されました。源昌寺からは、林美津子様、中村あきみ様の2名に参加いただきました。本当にありがとうございました。



令和4年12月2日（金）～4日（日） 3日3席で十夜法要を勤めました。今年は、少しずつ元の形へと近づき、法話と御詠歌を取り入れての3年ぶりの開催となりました。皆さまと共に「お念仏」をお唱えし、ご回向をいたしました。「目に見えないものを大切にする生き方」、最近少しずつ忘れ去られようとしているように感じます。仏さまの教えを聞き、もう一度その大切さを痛感させられた法要でした。

千年の善行にも勝る…「十夜法要」



有縁無縁の仏さまに供養を…「施餓鬼法要」



令和4年10月1日（土）14：30より施餓鬼法要を開催いたしました。今年も新型コロナウイルス感染症の予防対策として、午前中は一般参詣者のお参りのみ、午後から初施餓鬼をお迎えのご家庭だけという形を取らせていただきました。素晴らしい秋晴の下、たくさんの皆様のご支援とご協力をいただき誠にありがとうございました。

私自身も住職として初めて、施餓鬼法要の導師を務めさせていただきました。何事も最初が肝心。この思いをずっと持ち続けようと思っております。熱き想いを胸に。生前のお姿を偲びつつ。皆様と共に唱えした詠唱は、必ずや亡き人の元に届いたことでしょう。たくさんの方々にお参り頂きまして本当にありがとうございました。



お寺のコロナ対策

マスク着用

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、読経の際、僧侶はマスクを着用しております。皆さまもお寺でのお参りの際はマスクの着用をお願いします。

消毒液の設置

手をかざすだけで自動で消毒液が噴き出すものを玄関に設置しております。



非接触型の体温計

顔をかざすだけで、体温が測れる体温計を玄関に設置しています。お参りの際は、検温にご協力ください。



施餓鬼（せがき）とは何？

施餓鬼の由来は、『救拔焰 延ばすことができました。こうし口餓鬼陀羅尼經（くぼつえ た説話に基づいて、施餓鬼法要がんくがきだらにきょう）』 行われるようになりました。の経説に基づくものです。お 毎年、有縁の仏様のみではなく、釈迦様のお弟子の一人である 無縁の仏様にも皆様と共にお念仏阿難（あなん）尊者が、餓鬼 をし、ご回向をしています。に三日の命を予告されまし。ここ数年は、コロナ感染予防対策た。そこでお釈迦様の教えに で、一般と初施餓鬼の方と分けて従って、陀羅尼（だらに）を おります。早く一緒に法要が出来唱え、餓鬼に食事を施したと る日が来ることを願っております。ころ、その功德によって餓鬼 が救われ、阿難尊者も寿命をす。